

福島県地方大学・地域産業創生プロジェクト事業

～ 地域の産学官による地域のための水素プロジェクト「地域が水素をつくる主役へ」～

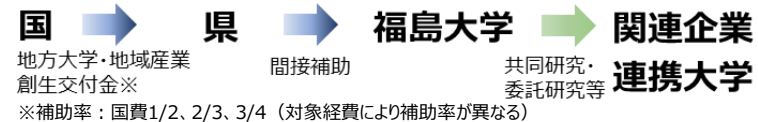
現状・課題

- 福島県内では、FH2Rを始めとする水素関連の実証や研究開発が大手企業中心に進められている。
- **一方、県内企業の関連産業への参入は容易ではなく、技術開発や人材育成が進まないといった課題がある。**
- また、**県内の若者を中心とした人材の流出が大きな課題となる中、福島県は、復興と地方創生を同時並行で進めていかなければならない。**

事業内容

- 「水素エネルギー総合研究所」を開所した**福島大学と県内企業が水素を製造するシステムを開発、実用化し、福島県の産学官が水素を「つくる」主役となることを目指す。**福島大学では、人材育成の強化により、**県内企業へ即戦力となる高度専門人材を輩出する。**

- ◆補助先：国立大学法人 福島大学
- ◆対象経費：事業費（施設整備費、機器・設備購入費、消耗品、諸経費）、委託費、人件費等



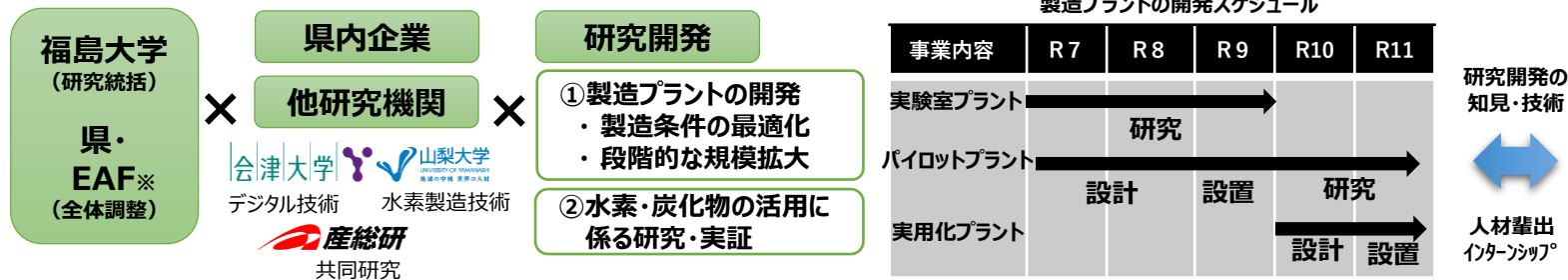
地方負担は特別交付税措置（措置率0.5）、一般補助施設整備等事業債（充当率90%、措置率0.3）

福島大学のバイオマスに関する知見・研究実績を素地に
太陽光パネルの設置等、大規模投資が不要で県内企業が参入しやすい

バイオマス由来水素・炭化物製造システムを確立

（県、福島大学、EAF、県内企業、他研究機関）

人材育成・大学改革 （福島大学）



※エネルギー・エージェンシーふくしま

県内企業の技術力向上、人材育成

- 【人材育成】
- ① 水素エネルギー関連プログラムの開講
 - ② 水素関連企業との共同研究への参加等

- 【大学改革】
- ① 水素・エネルギー関連コースを新設
 - ② 水素エネルギー総合研究所の増員・施設整備

水素・炭化物の「地産地消」を実用化・横展開

- ・水素を「運ぶ」コストが低減する
- ・水素の供給拠点が增える

- ・事業拡大、雇用創出
- ・県内外から人材が集まる

即戦力となる高度専門人材を輩出
スタートアップ企業の創出

①水素の利活用拡大

②関連産業の育成・集積

③研究と人材育成の中核拠点・イノベーションハブ

「水素社会の実現」「地方創生」「キラリと光る魅力ある大学」